

※本資料は、平成26年9月に横浜市水道局から発表された「水道に関するお客さま意識調査」におけるデータを用いておりますが、グラフとコメントにつきましては、適宜加工して作成しています。

## 佐倉市上下水道ビジョンの策定及び料金等の在り方に関する懇話会 第3回資料③

—水道に関するお客さま意識調査(横浜市水道局)(平成26年9月)—

—ウェブサイトのアドレス:<http://www.city.yokohama.lg.jp/suidou/kyoku/torikumi/sonota/pdf/ishiki-chosa/h26chosa.pdf>—

平成27年8月18日

佐倉市 上下水道部 事業管理課

# 目次

---

- |             |    |
|-------------|----|
| 1. 調査概要について | 2頁 |
| 2. 調査結果について | 4頁 |

---

## 1. 調査概要について

## (1) 調査概要について

### アンケートの目的

- この調査は、水道をご利用いただいているお客さまのご意見・ご要望をうかがい、今後の事業運営及び施策の企画・立案等に役立てることを目的として実施しました。

### アンケート調査対象

- 横浜市内に居住する20歳以上の方4,000人。

### 調査方法

- メール便配布、郵送回収。

### 回収件数

- 1,619件(回収率40.5%(送付件数は4,000件))。

### アンケート実施期間

- 平成26年5月12日(月)～同年5月26日(月)。

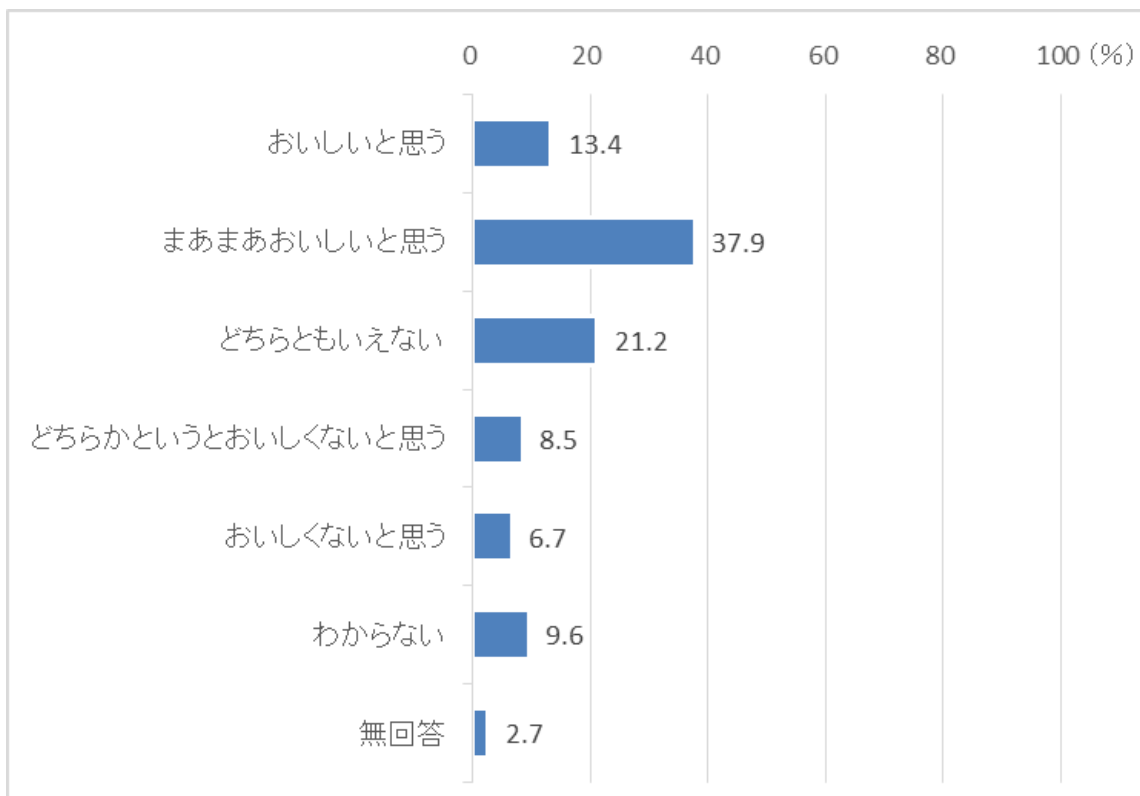
---

## 2. 調査結果について

## (1) 横浜市の水道水について

### 問. 横浜市の水道水を「おいしい」と思いますか？(単回答)(N=1,619)

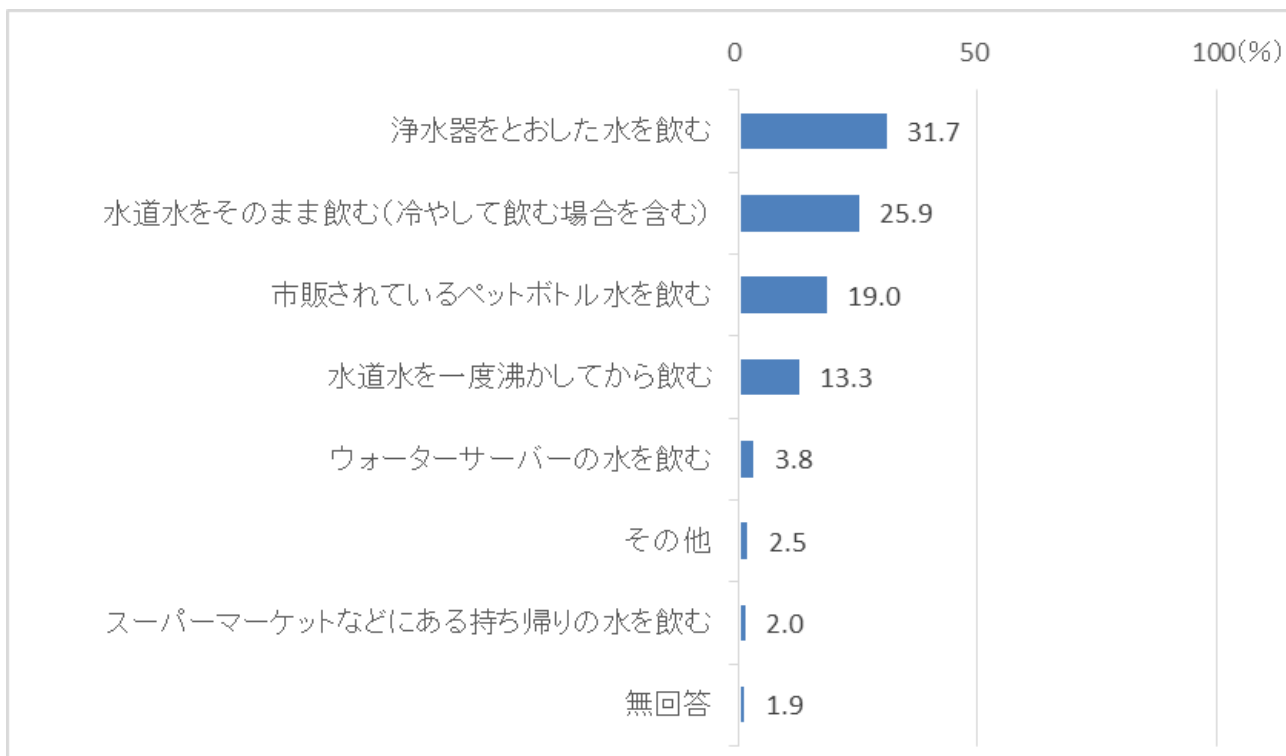
- 横浜市の水道水について、おいしいと思う(おいしいと思う、まあまあおいしいと思う)との回答は5割強となっています。
- 一方で、おいしくないと思う(どちらかというとおいしくないと思う、おいしくないと思う)との回答は15.2%となっています。



## (2) 水道水の飲用状況について

### 問. 主にどのような水を飲んでいますか？(単回答)(N=1,619)

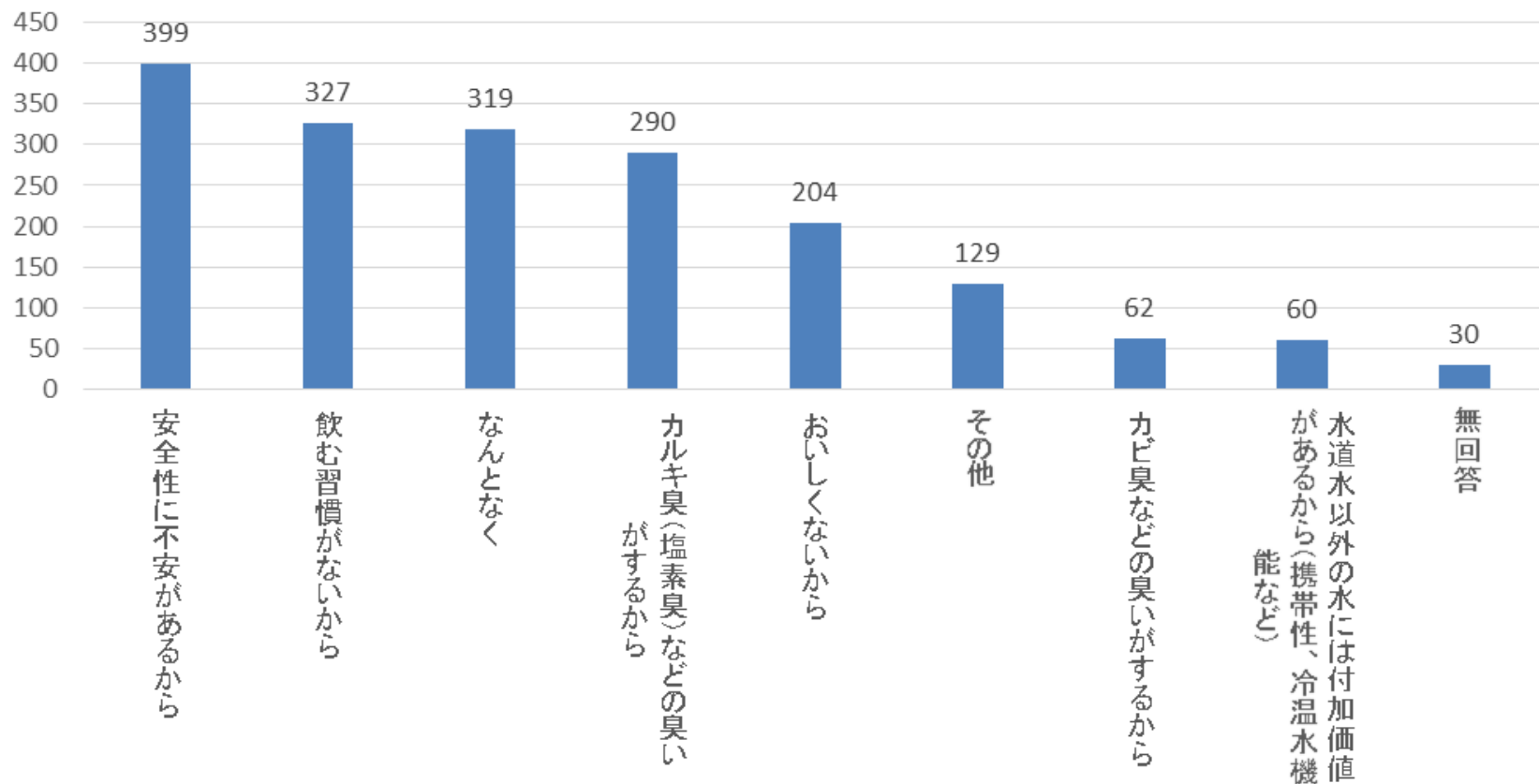
- 水道水を飲んでいる(そのまま飲む、浄水器を通して飲む、煮沸して飲む)との回答は、7割強となっています。



### (3) 水道水をそのまま飲まない理由について

#### 問. 水道水をそのまま飲まない理由は何ですか？(複数回答)(N=1,170)

- 水道水をそのまま飲まない理由としては、安全性に不安があるからの回答が最も多くなっています。
- 次いで、飲む習慣がないから、なんとなく、カルキ臭(塩素臭)などの臭いがするから、の順となっています。

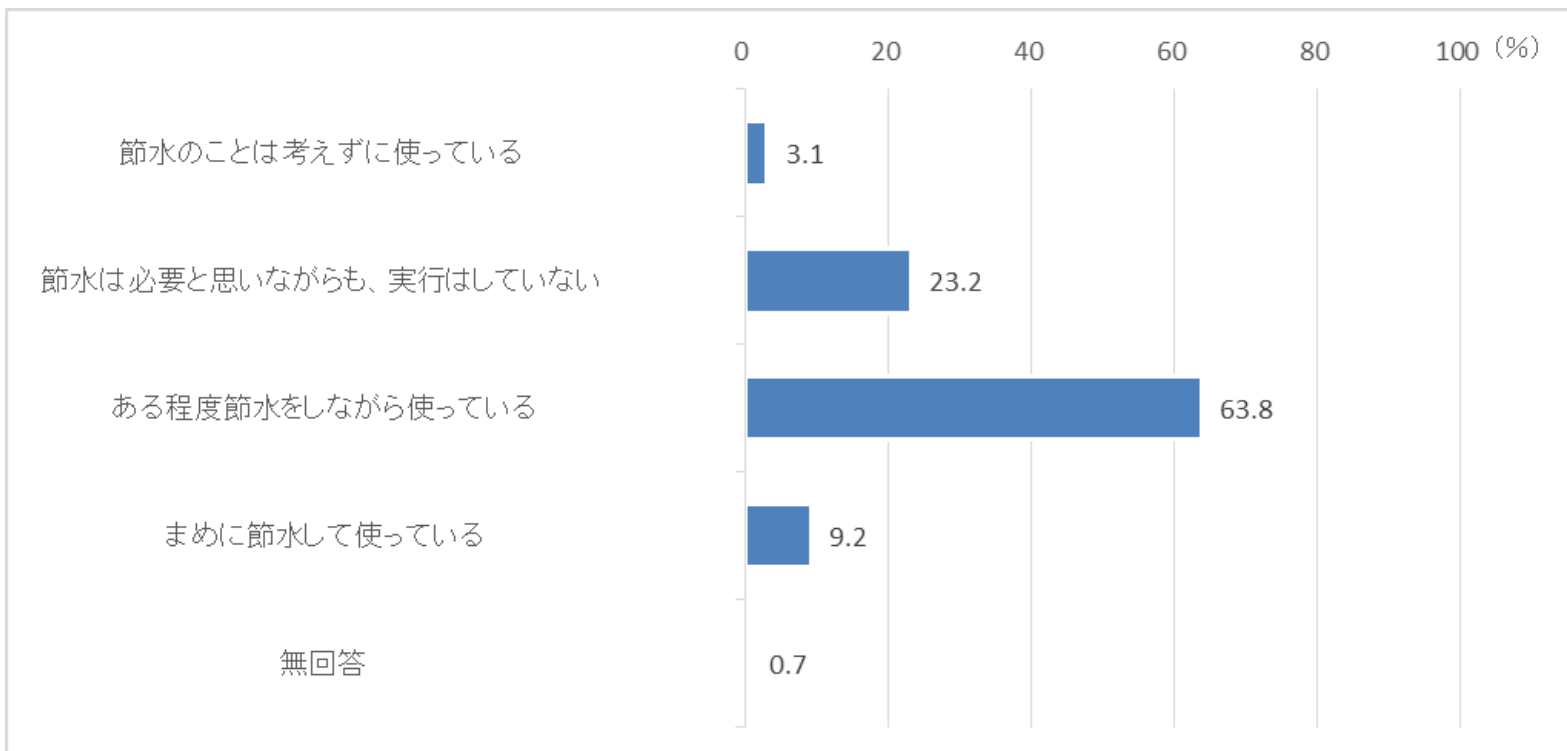




## (4) 節水状況について

問. 日ごろ、水をどのように使っていますか？(単回答)(N=1,619)

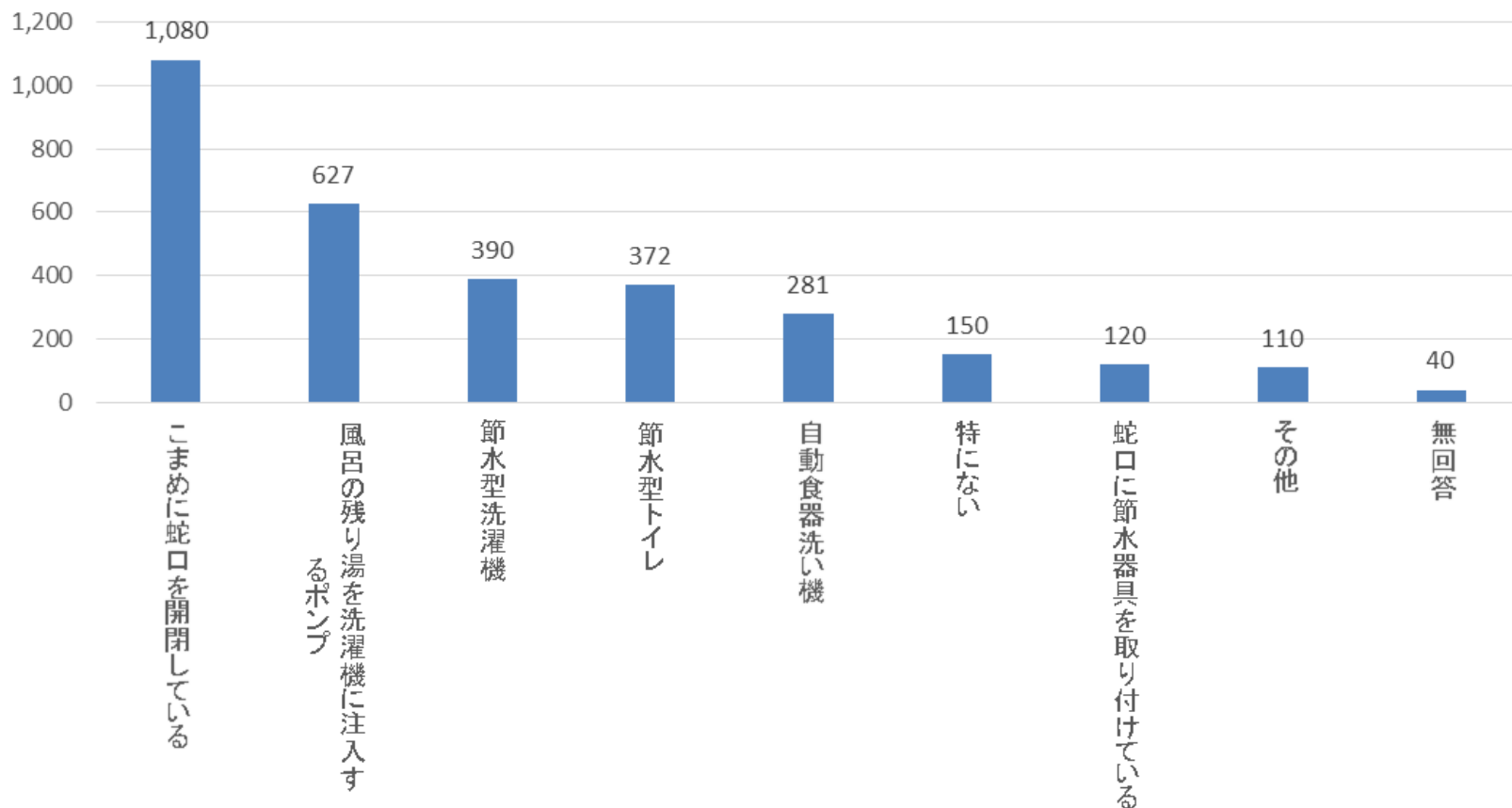
- 節水をしている(まめに節水して使っている、ある程度節水をしながら使っている)との回答は、7割以上となっています。



## (5) 節水の取組内容について

### 問. 家庭で行っている節水の取組や節水機器はありますか？(複数回答)(N=1,619)

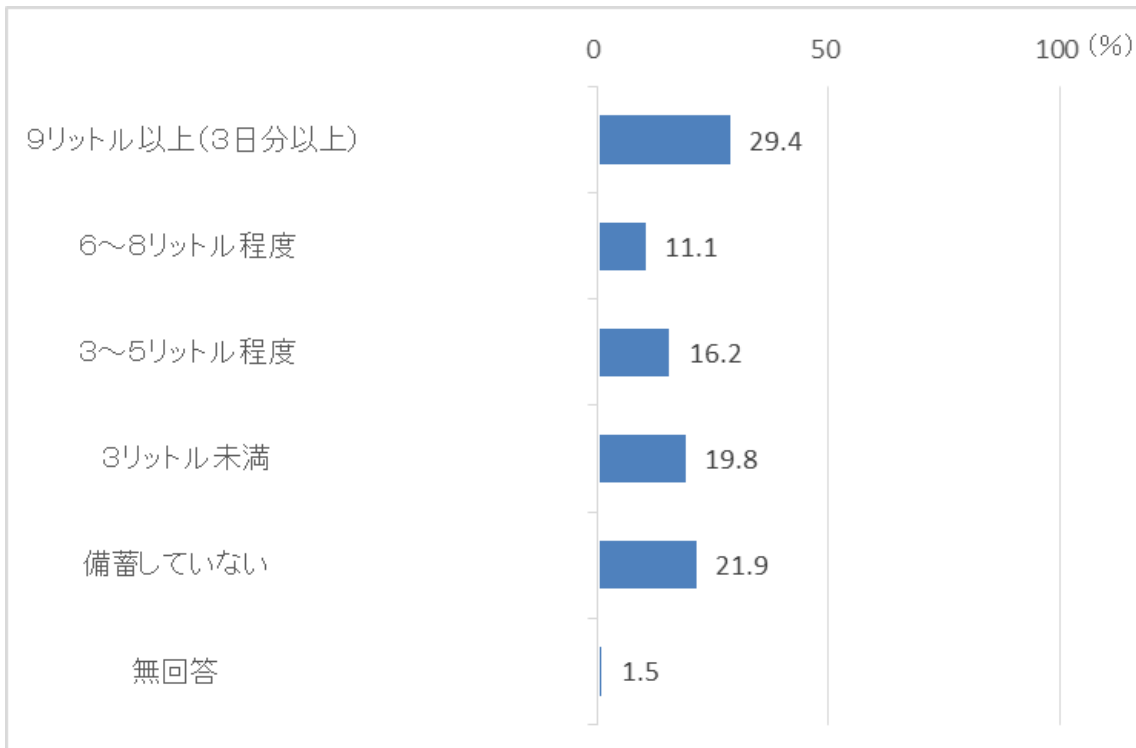
- こまめに蛇口を開閉しているとの回答が最も多く、次いで、風呂の残り湯を洗濯機に注入するポンプ、節水型洗濯機と続いています。



## (6) 飲料水の備蓄量について

**問. 家庭では、1人あたり、どのくらいの量の飲料水を備蓄していますか？(単回答)(N=1,619)**

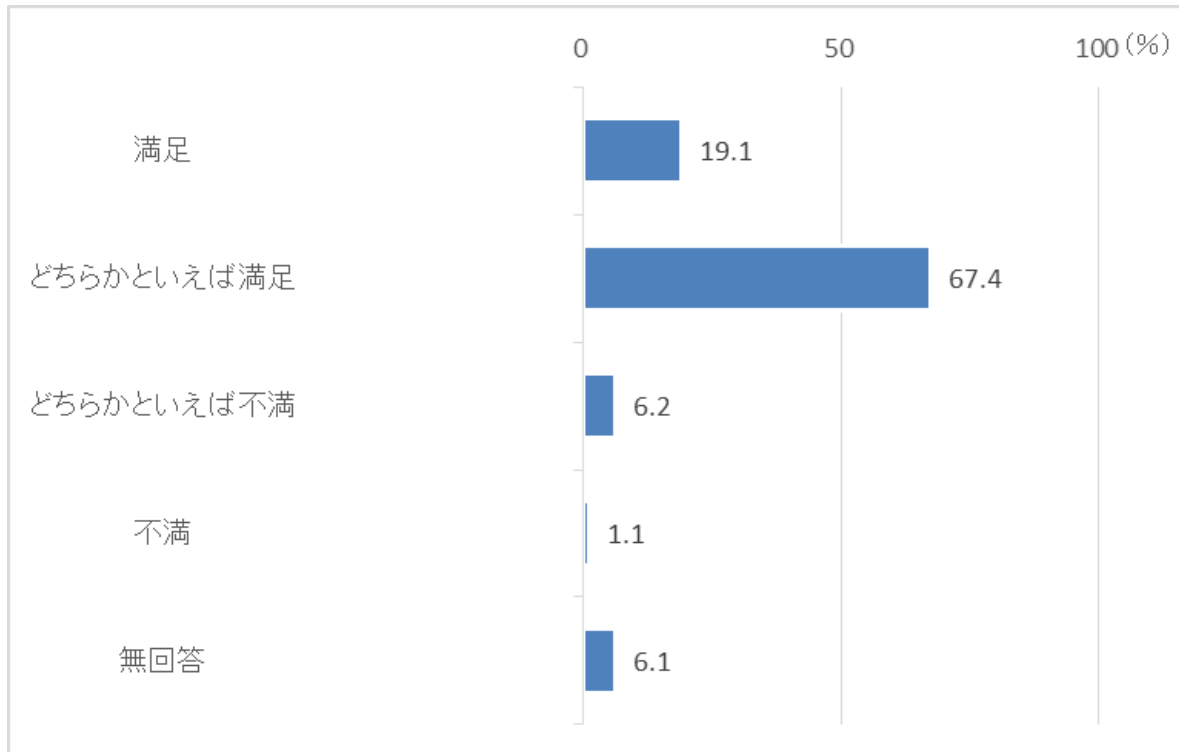
- 飲料水の備蓄量は、9リットル以上が最も多く、次いで、備蓄していない、3リットル未満の順となっています。



## (7) 水道事業への満足度について

問. 横浜市の水道事業に満足していますか？(単回答)(N=1,619)

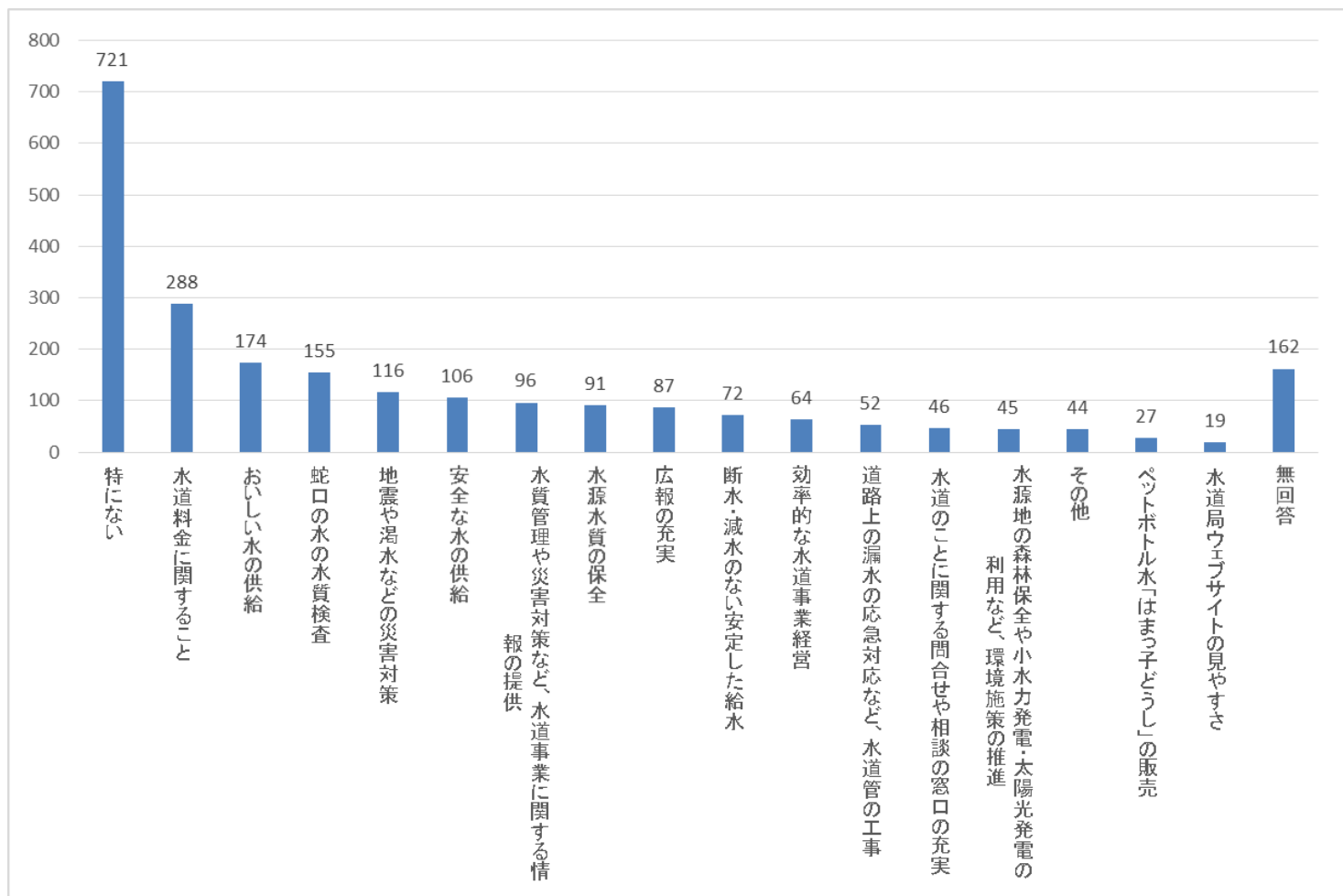
- 横浜市の水道事業に満足している(満足している、どちらかといえば満足している)との回答は、86.5%となっています。



## (8) 水道事業に対する不満点について

### 問. 横浜市の水道事業で不満な点はどのようなことですか？(複数回答)(N=1,619)

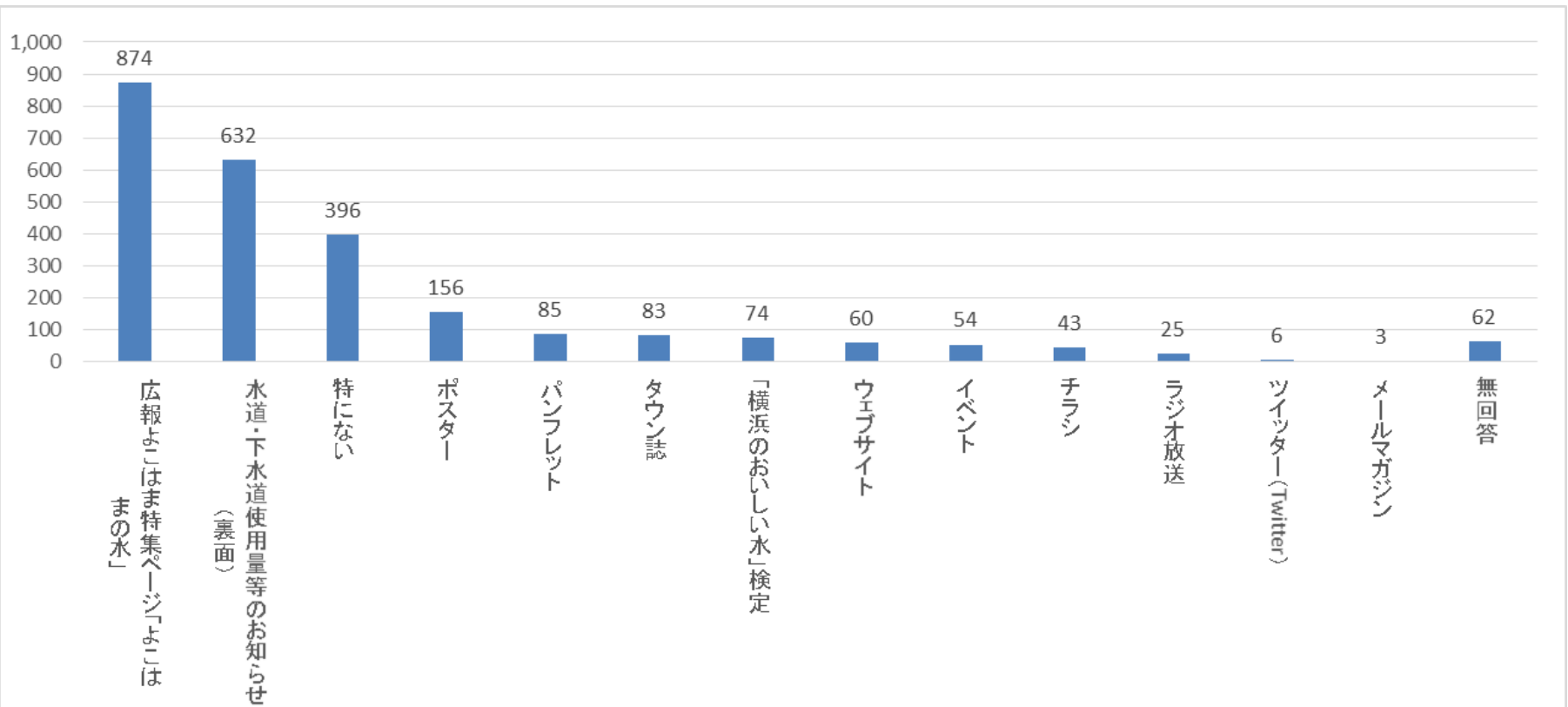
- 横浜市の水道事業への不満としては、水道料金が高いが最も多くなっています。また、次いで水道水の安全性に不安があるとの回答が多くなっています。



## (9) 広報・PRに対する認知状況について

### 問. 横浜市の水道事業のPR活動で知っているものはありますか？(複数回答)(N=1,619)

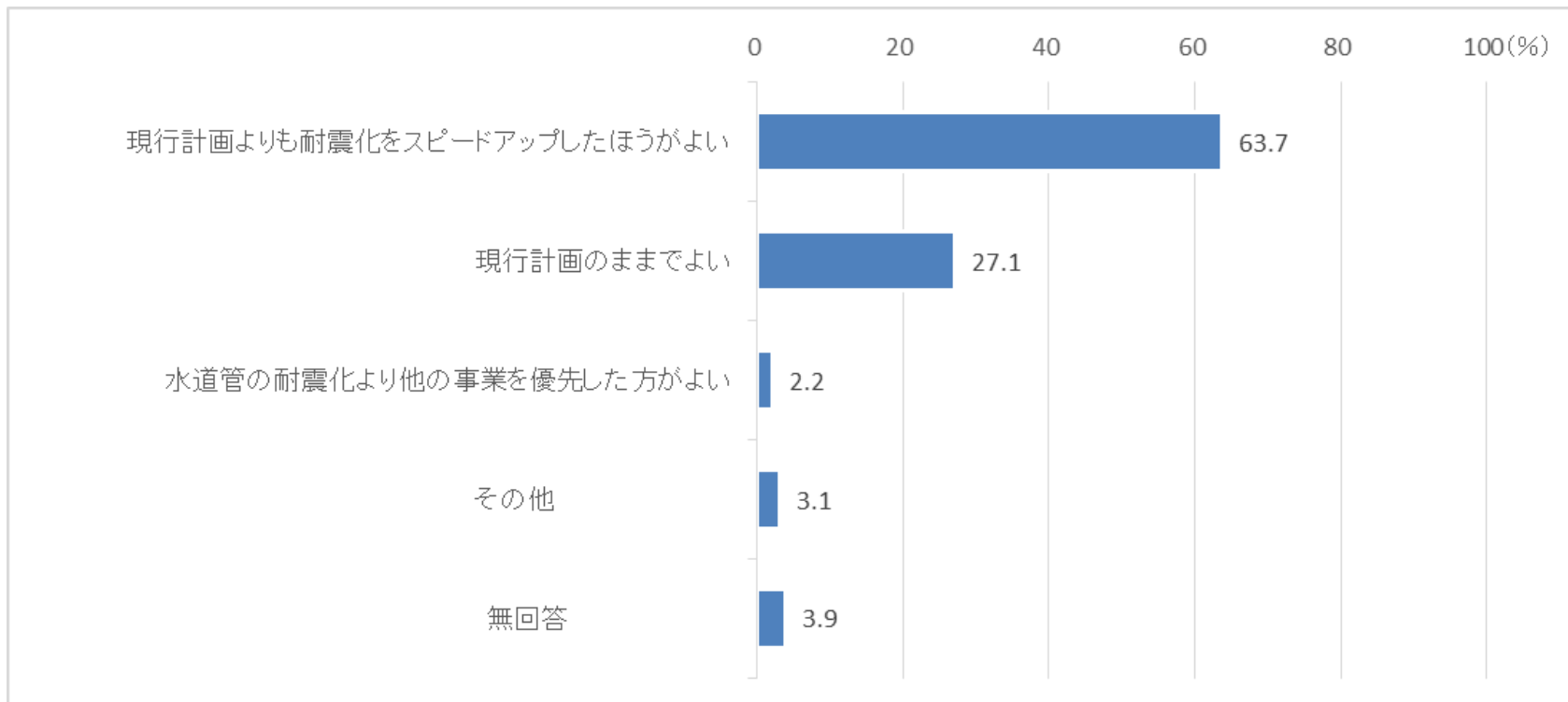
- 水道事業のPR媒体に対する認知では、広報よこはま特集ページ「よこはまの水」が最も多く、次いで、水道・下水道使用量等のお知らせ(裏面)、特にな、の順になっています。



## (10) 耐震化を進めるにあたっての考え方について

### 問. 耐震化を進めるにあたって考えが近いものはどれですか？(単回答)(N=1,619)

- 管路耐震化スピードアップについての考えについては、現行計画よりも耐震化をスピードアップしたほうがよいが6割強と最も高くなっています。



## (11) これからの水道事業の取り組みについて

### 問. 今後特に力を入れるべきと思う事項はどれですか？(複数回答)(N=1,619)

- 水道局の今後の取組については、安全でおいしい水の提供、大地震など災害に強い水道づくり、との回答が突出して多く、次いで経営の効率化、環境保全への貢献、と続いています。

